

出前講座レポート

平成22年6月23日(水) 曇り

大和川河川事務所では、大和川のことを多くの人に知って頂くために「出前講座」を行っています。今日は阪南大学 経済学部に行ってきました。

出前講座の概要

今回、私たちのお話を聞いてくれたのは、阪南大学 経済学部2～4年生の30人の学生です。今回は治水対策、総合治水対策、環境対策、水環境整備事業の評価（費用対効果）、そして大和川水系河川整備基本方針・河川整備計画の流れについてお話ししました。



講座の様子(その1)

今回のお題

【13:30～15:00】

司会	田辺
①治水対策	田辺
②総合治水対策	田辺
③環境対策	田辺
④公共事業の評価（費用対効果）	田辺
⑤整備基本方針・整備計画	田辺
お手伝い	石飛、赤松

出前講座の様子

大和川の流域の特性や、過去の水害と河川改修の方法などについて話しました。学生は、出身地が様々な所から来てる人も多く、大和川がどういった特徴の川か知らない人もいましたが、大和川周辺に実家がある人たちは大和川のことについてよく知っていました。

水環境整備事業の評価（費用対効果）のところでは、便益の算出（貨幣換算）をする際に、「CVMによる支払い意思額」について学生に話をしました。

また「水質をよくする**水環境改善**」「多種多様な動植物の生息環境をよくする**自然再生**」「誰もが安心して水辺空間を利用できるようにする**利用推進**」の三つの施策について、学生の世帯全体で毎月負担していただく金額がいくらであれば、この施策に賛同されるかアンケートにより、お聞きしました。

一番多く負担しても良いという施策は、「**自然再生**」次に「**利用促進**」「**水環境改善**」という結果になりました。負担があれば、どの施策にも反対という学生は一人もいませんでした。さらに、「**自然再生**」についていくらまで負担できるか具体的に聞いたところ、100円の回答が最も多く、中には1000円負担する学生もおられました。



講義の様子(その2)



講義の様子(その3)

CDSTの声

阪南大学 経済学部の皆さん、話を聞いてくれてありがとうございました。大和川の「総合治水」や「環境」対策のお話どうでしたか。わからない事や気になることがあったら、どんどん質問して下さい。